

予 算 要 求 資 料

令和4年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名 林業・木材事業者活動強化支援事業費補助金（R5分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

林政部 県産材流通課 加工流通係 電話番号：058-272-1111(内4365)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 14,000 千円 （現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	14,000	0	0	0	0	0	0	0	14,000
決定額									

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

コロナ禍に伴うウッドショックやロシア・ウクライナ情勢による木材価格・木材以外の資材・材料費の高騰により住宅価格が上昇し、住宅着工棟数の減少がおこっているため、工務店では資材価格上昇分を住宅価格に転嫁できず収益が低下するなど、木造住宅の建設に影響が出ている。

また、製材加工事業者はB to Bの大規模商談会が中止されることによる新たな商談機会の喪失などにより、減産している状況にある。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、VR技術やWEBを活用した非対面型の営業・商談活動など新たなビジネス手法の導入や生産管理、在庫管理のデジタル化等DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組みを求められているが、工務店や製材加工事業者など林業・木材事業者の経営体力は弱っており、これらに対する積極的な投資ができないことが予想される。

このため、林業・木材事業者による「withコロナ」に対応した新たな取り組みを支援する。

(2) 事業内容

①国内競争力強化支援

- ・事業内容： 仮想現実（VR）住宅展示場の開発、WEBを活用した営業・商談活動の実施など国内での県産材住宅、県産材製品の販路拡大に向けた取り組みを支援
- ・補助対象者： 県内の林業・木材事業者（プロポーザル方式）
- ・補助率： 1 / 2以内（補助限度額：1,000千円）

②DX支援

- ・事業内容： 生産工程管理、在庫管理などのデジタル化に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組む事業者を支援
- ・補助対象者： 県内の林業・木材事業者（プロポーザル方式）
- ・補助率： 1 / 2以内（補助限度額：5,000千円）

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率 1 / 2以内

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	14,000	①国内競争力強化支援：1,000千円× 4件
		②DX支援：5,000千円× 2件
合計	14,000	

決定額の考え方**4 参考事項****(1) 各種計画での位置づけ**

県産材の販路拡大は第4期岐阜県森林づくり基本計画（R4～R8）における「都市の木造化・脱炭素社会の実現に向けた県産材の需要拡大」に位置づけられている。

(2) 国・他県の状況

類似事業なし

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

木材関係事業者からの提案（プロポーザル方式）とすることで、より効果の高い事業に対して支援することができる。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	林業・木材事業者活動強化支援事業費補助金
補助事業者（団体）	民間事業者（木材関係事業者）、市町村 （理由） 県内の木材関係事業者による木材産業DXの取組みを促進する。
補助事業の概要	（目的） 民間事業者、市町村が行う、デジタル化を支援することにより、県産材の需要拡大を図る。 （内容） 民間事業者、市町村によるVR技術を活用した新たなビジネス手法の導入や、生産管理のデジタル化など「withコロナ」の取組みを支援する。
補助率・補助単価等	定率 （内容） 補助事業に要する経費の1/2 （理由） 国庫補助事業に準ずる
補助効果	民間事業者、市町村によるVR技術を活用した新たなビジネス手法の導入や、生産管理のデジタル化など「withコロナ」の取組みを支援する。
終期の設定	終期 令和5年度 （理由） 単年度事業であるため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 新型コロナウイルス感染症の長期化やロシア・ウクライナ情勢の影響を受けた木材関係事業者の経営を回復軌道に乗せる。</p>
--

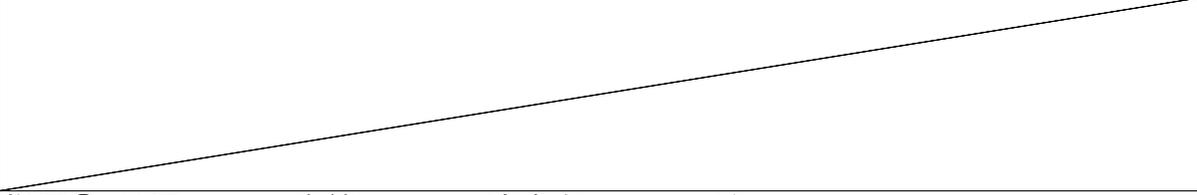
(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
①品質・性能が証明された木材製品出荷量	44千m ³	45千m ³	54千m ³	61千m ³	61千m ³	90%

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	-	36,564	8,185

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発及び普及啓発の実施。 ・海外における県産材PR施設の設置。 <p>※林業・木材事業者活動強化支援事業とあわせて、コロナ対策として補助率3/4以内で実施。</p>
	指標① 目標：50千m ³ 実績：44千m ³ 達成率：88%

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 国内競争力強化支援：8件 海外販路拡大：1件 <p>上記の2件に支援を行い、VR技術やWEBを活用した非対面型の営業・商談活動など新たなビジネス手法の導入や、国内外への県産材製品の販路拡大に対する取り組みを支援し、県産材の需要拡大を図った。</p> <p>※林業・木材事業者活動強化支援事業とあわせて、コロナ対策として補助率3/4以内で実施。</p>
	指標① 目標：50千m ³ 実績：45千m ³ 達成率：90%
令和4年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	新型コロナウイルス感染症の長期化やロシア・ウクライナ情勢の影響により、売上高が大きく減少した木材関係事業者の経営を支援することが必要。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <p>3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	国内外への県産材製品の販路拡大、県産材を活用した新たな部材や工法などの開発に対する取り組みを支援し、県産材の需要拡大を図った。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	プロポーザル方式により選定することで、より効果の高い事業へ支援することができる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>新型コロナウイルス感染症の長期化やロシア・ウクライナ情勢の影響を受けた木材関係事業者の経営を早期に回復軌道に乗せることが必要。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>新型コロナウイルス感染症の長期化やロシア・ウクライナ情勢の影響が収束し、国内の経済活動が回復軌道に乗った時点で廃止とする。</p>
--